

平成 1 9 年度

第 4 回

(集団研修)

畑地帯における農業基盤整備コース
実施要領

平成 1 9 年 6 月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

Japan International Cooperation Agency

目 次

1. コース基本情報	1
2. コース目的	1
3. 到達目標	1
4. 研修プログラム	2
5. 研修員参加資格要件	3
6. 研修実施体制及び運営	3
7. 研修の評価	4
8. 研修付帯プログラム	5
9. 研修・宿泊場所	6
10. その他	7

参 考 資 料

- 付表－1 研修員の業務関連情報
- 付表－2 平成19年度研修日程(案)
- 付表－3 年度別受入実績表

1. コース基本情報

(1) コース名

和文：(集団) 畑地帯における農業基盤整備コース

英文：Group Training Course in Agricultural Infrastructure Improvement in Upland Crops Area

(2) 受入期間

平成 19 年 5 月 27 日（日）～ 平成 19 年 8 月 18 日（土）(84 日間)

(3) 技術研修期間

平成 19 年 6 月 4 日（月）～ 平成 19 年 8 月 17 日（金）(75 日間)

(4) 定員、割当国

定 員：8 名

割当国：ブータン、ブラジル、エジプト、インド、ケニア、パプアニューギニア、イエメン、ザンビア、アルジェリア、カンボジア（下線は受入国）

2. コース目的

日本、特に十勝地方の畑地帯における土地改良事業（灌漑・排水、農地整備、農地防災、施設管理）の事例を中心とした、畑地帯における土地改良事業の全般的な調査計画、設計、施工管理に係る知識・技術の向上を図る。もって、自国での総合的な農業農村整備への適切な提言を行う事ができる人材の育成を目的とする。

3. 到達目標

- (1) 土地改良事業の「実態と法体系の制度」が理解できる。
- (2) 土地改良事業の「計画と設計の理論」が理解できる。
- (3) 土地改良事業の「施工管理技術」を理解できる。
- (4) 各研修員の出身国の実情に即した農業基盤整備の考え方を理解できる。

4. 研修プログラム

(1) 研修内容

来日後一週間のオリエンテーションの後、帰国までの期間、研修を実施する。主に講義、実習、視察、討論から構成される。

ア. 研修カリキュラム（付表-2 講義計画日程表 参照）

イ. ジョブレポート発表会（Job Report Presentation）

(7) 目的

- a. 研修員自身が問題点を再認識する
- b. 研修員相互間で問題意識を共有する
- c. 講師が研修員の業務内容、研修で習得したい技術・知識を理解する

これらの発表を通じ、講師より個々の研修員の期待に対してこの研修でできないことを明確に示す意見交換の場とする。

(4) 発表内容

J/R 発表会において、各研修員は以下の3点について主に発表する

- a. 自国でどのような仕事に従事しているのか
- b. その仕事において現在どのような問題を抱えているか
- c. この研修の中で習得したい技術、知識

ウ. アクションプラン発表会（Action Plan Presentation）

(7) 目的

- a. 研修員が帰国後に取り組むべき課題を明確にする
- b. 可能な計画の立案能力向上
- c. 研修結果の資料として利用する

(イ) 発表内容

J/R で提言した問題点、また、研修中に新たに想定された問題点の解決のためのプロジェクトの計画を策定し、その目標達成のための活動計画（アクションプラン）を発表する。（A/P の必要記載事項として、プロジェクトタイトル、解決すべき問題とそれに対するプロジェクト目標、期間、場所、事業主体、活動内容など、についての記述を求める）

(2) 使用言語 英語

5. 研修員参加資格要件

当該コースに関わる General Information 記載条件

- (1) 畑作農業に関わる土地改良（灌漑排水、農地整備、農地防災）の調査計画、設計、あるいは、施工管理、設計管理の経験がある技術者。
- (2) 経験年数 3 年以上のもの
- (3) 大学卒業者または同等の学力を有するもの

各コース資格要件

- (1) 所定の手続により割当国政府から推薦されていること
- (2) 十分な英会話、英文読解能力のあるもの
- (3) 身体的、肉体的に健康なこと
- (4) 軍隊に服役していないこと

6. 研修実施体制及び運営

本研修コースは、コースリーダーの助言のもと、独立行政法人国際協力機構帯広国際センター（以下、JICA 帯広）が計画する研修コースの実施に関する業務を、社団法人北方圏センター（以下、NRC）に委託し、関係諸機関の協力により実施・運営するものとし、具体的業務分担は次のとおりとする。

(1) JICA 帯広

ア. 研修実施計画書作成（コース目的、到達目標、研修期間など）

イ. 研修の評価

ウ. 研修実施予算の執行管理

エ. 募集要項（G. I.）及び研修実施要領等の作成

オ. その他

(2) NRC

ア. 研修日程表の調整・作成

イ. 講師、見学先等への連絡・確認

ウ. テキスト、資料等の手配

エ. その他

(3) コースリーダー

研修の計画、実施、評価の全般にわたる技術的助言等

(4) 研修監理員（Coordinator：CDN）

技術研修期間中、(財)日本国際協力センター（JICE）所属の研修監理員（CDN）を配置し、コース実施・運営の円滑・調整を図る。

ア. 研修に係る関係者間の連絡調整

イ. 通訳業務

ウ. その他

7. 研修の評価

(1) 評価の目的

研修コースの到達目標（1 頁参照）に基づき、研修成果の測定、分析を通じてコース終了時に、当初目標の達成度を確認する。また、今後の研修で改善すべき点をあげ、本コースの研修内容の質的改善を図るものとする。

(2) 評価の方法

ア. コースリーダー等による個々の研修員の到達目標の達成度把握

イ. 個々の研修員による評価 (Questionnaire)

ウ. JICA による評価

(3) 評価会

研修終了時に研修員が提出する Questionnaire (JICA 所定の様式による質問書) の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

(4) 改善検討会

研修員の帰国後に、評価結果に基づき、JICA、コースリーダー、講師、NRC 等 が参加し、研修の目的・内容、プログラム構成、指導方法等について協議し、翌年度のコース改善に向けて対応方針を検討する。

8. 研修付帯プログラム

(1) ブリーフィング

研修員来日直後に、JICA 帯広国際センターにおいて実施する。ブリーフィングでは、JICA の業務概要説明及びコース概要、研修員登録、パスポートビザの有効期間確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

(2) ジェネラルオリエンテーション

JICA 帯広にて実施し、日本の社会・歴史・文化・政治・経済・教育などの日本事情の紹介を目的とする。

(3) 日本語講習

研修員は、研修のみならず国際交流事業に役立てるよう、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として 10 時間の日本語講習を実施する。

ブリーフィング・ジェネラルオリエンテーション・日本語講習日程

日 程	内 容
5 月 28 日（月）	ブリーフィング
5 月 29 日（火） 午前 午後	ジェネラルオリエンテーション 講義「日本の社会と日本人」 講義「日本の経済」
5 月 30 日（水） 午前 午後	ジェネラルオリエンテーション 講義「日本の教育」 講義「日本の政治、行政」「日本の歴史・文化」
5 月 31 日（木）	日本語講習
6 月 1 日（金）	日本語講習

9. 研修・宿泊場所

(1) 研修実施機関

独立行政法人国際協力機構帯広国際センター

所在地：〒080-2470 北海道帯広市西 20 条南 6 丁目 1 番地 2

Tel：0155-35-1210 Fax：0155-35-1250

(2) 宿泊施設

独立行政法人国際協力機構帯広国際センター

所在地：〒080-2470 北海道帯広市西 20 条南 6 丁目 1 番地 2

Tel：0155-35-2001 Fax：0155-35-2213

10. その他

(1) 修了証書

この研修を修了した研修員に JICA から修了証書 (Certificate) を授与する。

(2) 研修員の待遇

ア. 入国資格

日本で技術研修を受けるために来日する者は研修ビザを取得し、日本滞在中は日本国法規の適用を受ける。

イ. 滞在費

JICA の規程に基づき、本コースの研修を受けるために必要な手当が支給される。

(3) 開発教育支援

「開発教育」とは、開発途上国の文化、社会、人々の暮らし、日本との関係などを知ることによって開発途上国に関心を持ち、「貧困問題」や「環境問題」など地球全体の構造的な問題を自分の問題としてとらえ、解決のために自ら行動することが必要であるという認識を広めることを目的として小・中学校の教育現場で実施されている。JICA はこの「開発教育」の支援に力を入れており、本研修コースの中に、地域の小・中学校や地域住民との相互理解のためのプログラムが含まれている。



独立行政法人国際協力機構 帯広国際センター

〒080-2470 帯広市西20条南6丁目1番地2

TEL : 0155-35-1210 FAX : 0155-35-1250

URL : <http://www.jica.go.jp/worldmap/hokkaidou.html#obihiro>

付表-2

平成19年度JICA(集団)畑地帯における農業基盤整備コース研修日程(案)

月・日	曜	午前／午後	区分	カリキュラム	担当機関(講師名)	研修場所
5/27	日			来日		
5/28	月			ブリーフィング・オリエンテーション	(社)北方圏センター	JICA帯広
5/29	火			ブリーフィング・オリエンテーション	(社)北方圏センター	JICA帯広
5/30	水			オリエンテーション	(社)北方圏センター	JICA帯広
5/31	木			日本語研修	(社)北方圏センター	JICA帯広
6/1	金			日本語研修	(社)北方圏センター	JICA帯広
6/2	土			休日		
6/3	日			休日		
6/4	月	9:00～9:30		帯広市長表敬訪問	帯広市役所	帯広市役所
		11:00～12:00		コースオリエンテーション	帯広開発建設部(次長) 竹内 英雄	JICA帯広
		13:30～16:00		ジョブレポート発表会	(社)北方圏センター	JICA帯広
6/5	火	9:30～12:00	講義	PCM手法	(株)かいほつマネジメント・コンサルティング	JICA帯広
		13:30～16:00				
6/6	水	9:30～12:00	講義	PCM手法	(株)かいほつマネジメント・コンサルティング	JICA帯広
		13:30～16:00				
6/7	木	9:30～11:30	講義	行政組織の概要	帯広開発建設部(次長) 竹内 英雄	JICA帯広
		13:30～16:30	講義	北海道開発の歴史	帯広開発建設部(地域振興) 鏡 和宏	
6/8	金	10:00～11:00	視察	十勝の農業	百年記念館	百年記念館
		13:30～16:30	視察	帯広の農業	帯広市農業技術センター	帯広市農業技術センター
6/9	土			休日		
6/10	日			休日		
6/11	月	9:30～11:30	講義／視察	農協組織	十勝農協連 専務理事 佐藤 文俊	JICA帯広
		13:30～16:30				
6/12	火	9:30～12:00	講義	食糧事情と法体系	帯広開発建設部(対策官) 西野 広幸	JICA帯広
		13:30～16:00				
6/13	水	9:30～12:00	講義	十勝の気象と農業水文	(財)日本気象協会北海道支社帯広支店 支店長 川合 文人	JICA帯広
		13:30～16:00				
6/14	木	9:30～11:30	講義／視察	十勝の河川整備	帯広開発建設部(治水課長) 吉柳 岳志	JICA帯広
		13:30～16:30				
6/15	金	9:30～11:30	講義／視察	十勝の道路整備	帯広開発建設部(道路課長) 戸松 義博	JICA帯広
		13:00～16:00				
6/16	土			休日		
6/17	日			休日		
6/18	月		視察	道内研修(視察:帯広→札幌)	独立行政法人 土木研究所 寒地土木研究所	
6/19	火		視察	道内研修(視察:札幌)	北大植物園	
6/20	水		視察	道内研修(移動:札幌→深川(視察))	深川土地改良区	
6/21	木		視察	道内研修(移動:旭川→富良野(視察)→帯広)	旭川開発建設部 土の館	
6/22	金			学校訪問		
6/23	土			休日		
6/24	日			休日		
6/25	月	9:30～11:30	講義／視察	十勝農業の概要	十勝支庁 産業振興部農務課長 服部 聖	JICA帯広
		13:30～16:30				
6/26	火	9:30～11:30	講義／実習	十勝の土壌(Ⅰ)(排水改良)	NPOすけっと百人会 夏伐 一夫	JICA帯広
		13:00～16:00			(株)ズコーシャ総合科学研究所 丹羽 勝久	
6/27	水	9:30～11:30	講義／実習	十勝の土壌(Ⅱ)(畑地かんがい)	NPOすけっと百人会 夏伐 一夫	JICA帯広
		13:00～16:00			(株)ズコーシャ総合科学研究所 廣永 行亮	
6/28	木	9:30～12:00	講義	十勝の農業農村整備事業	帯広開発建設部(農業開発第1課長)	JICA帯広
		13:30～16:00			濱口 大志	
6/29	金	9:30～11:30	講義／視察	国営農地再編整備・農地防災事業	帯広開発建設部(十勝南部農業開発事業所長)	JICA帯広
		13:30～16:30			福井 孝博	

付表-2

6/30	土			休日		
7/1	日			休日		
7/2	月	9:30～12:00 13:30～16:00	講義／視察	直轄明渠排水事業と暗渠排水	NPOすけっと百人会 山口 則男	JICA帯広
7/3	火	9:30～11:30 13:30～16:30	講義／視察	かんがい排水事業	帯広開発建設部(帯広農業事務所長) 平田 善二	JICA帯広
7/4	水	9:30～12:00 13:30～16:00	講義	営農計画と事業効果	帯広開発建設部(農業調査専門官) 小澤 隆	JICA帯広
7/5	木	9:30～11:30 13:30～16:30	講義	土地改良区の概要 道営等農業農村整備事業の内容	十勝支庁産業振興部調整課 指導企画係長 坪井隆徳 十勝支庁産業振興部整備課検査専門員 中町昌三	JICA帯広
7/6	金	9:30～11:30 13:30～16:30	講義／視察	道営等農業農村整備事業の内容	十勝支庁産業振興部整備課検査専門員 中町昌三 十勝支庁産業振興部整備課長 千葉裕司 検査専門員 中町昌三	JICA帯広
7/7	土			休日		
7/8	日			休日		
7/9	月	9:30～11:30 13:30～16:30	講義／視察	事業実施と環境(生態系含む)対策	NPOすけっと百人会 荒金 章次 (株)ズコーシャ総合科学研究所 山岸 裕	JICA帯広
7/10	火	9:30～11:30 13:00～16:00	講義／視察	畑地かんがい計画1 (水源計画含む)	帯広開発建設部(鹿追地域農業開発事業所長) 高橋 雅一	JICA帯広
7/11	水	9:30～11:30 13:00～16:00	講義／視察	畑地かんがい計画2	帯広開発建設部(鹿追地域農業開発事業所長) 高橋 雅一	JICA帯広
7/12	木	9:30～11:30 13:30～16:30	講義／視察	ダムの計画と設計	帯広開発建設部(帯広農業事務所長)平田 善二	JICA帯広
7/13	金	9:30～11:30 13:30～16:30	講義／視察	頭首工の計画と設計	NPOすけっと百人会 小杉山 賢	JICA帯広
7/14	土			休日		
7/15	日			休日		
7/16	月			休日(海の日)		
7/17	火	9:30～12:00 13:30～16:00	講義	パイプラインの計画と設計1	NPOすけっと百人会 宮崎 健次	JICA帯広
7/18	水	9:30～11:30 13:00～16:00	講義／視察	パイプラインの計画と設計2	NPOすけっと百人会 宮崎 健次	JICA帯広
7/19	木	9:30～11:30 13:00～16:00	講義／視察	畑地かんがい末端施設計画と設計	NPOすけっと百人会 青沼 時雄	JICA帯広
7/20	金	9:30～11:30 13:00～16:00	講義／視察	家畜糞尿による バイオガスプラントの事例	NPOコミュニティシンクタンクあうるず 竹内 良曜	JICA帯広
7/21	土			休日		
7/22	日			休日		
7/23	月	9:30～11:30 13:30～16:30	講義／視察	農道整備事業	NPOすけっと百人会 熊澤 幸一	JICA帯広
7/24	火	9:30～11:30 13:30～16:30	講義／視察	農用地開発事業	NPOすけっと百人会 鈴木 一弘	JICA帯広
7/25	水	9:30～11:30 13:00～16:00	講義／実習	土木材料の特性と活用	NPOすけっと百人会 夏伐 一夫 (株)ズコーシャ総合科学研究所 藤崎 浩孝	(株)ズコーシャ
7/26	木	9:30～11:30 13:00～16:00	講義／実習	設計のための地盤調査	NPOすけっと百人会 夏伐 一夫 (株)ズコーシャ総合科学研究所 高橋 宣之	(株)ズコーシャ
7/27	金	10:00～12:30		アクションプラン作成		JICA帯広
7/28	土			休日		

付表-2

7/29	日			道外研修(移動:帯広→兵庫)		
7/30	月			道外研修	加古川水系広域農業水利施設総合管理所	
7/31	火			道外研修(移動:兵庫→名古屋)		
8/1	水			道外研修(名古屋)(移動:名古屋→東京)	愛知用水	
8/2	木			道外研修	鹿島技術研究所	
8/3	金			道外研修(移動:東京→帯広)		
8/4	土			休日		
8/5	日			休日		
8/6	月	9:30～12:00	視察	農産物加工施設	日本缶詰株式会社	日本缶詰株式会社
		14:00～16:00	視察		カルビーポテト(株)	カルビーポテト(株)
8/7	火	9:30～12:00	講義／実習	人工衛星による農業への活用	NPOすけっと百人会 夏伐 一夫	(株)ズコーシャ
		13:30～16:00			(株)ズコーシャ総合科学研究所 清野 伸孝	
8/8	水	9:30～12:00	講義／視察	農業機械	(独法)農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター 芽室研究拠点	北海道農業研究センター
		13:30～16:00			研究調整役 豊田 政一	
8/9	木	9:30～11:30	講義／視察	出来高管理、品質管理	NPOすけっと百人会 蓑島 雅登	JICA帯広
		13:30～16:30				
8/10	金	9:30～11:30	講義／視察	工事の施工計画と安全対策及び新技術	NPOすけっと百人会 岩城 勝義	JICA帯広
		13:30～16:30				
8/11	土			休日		
8/12	日			休日		
8/13	月	9:30～11:30	講義／視察	開かれた農村とファームイン	NPOすけっと百人会 中村 茂樹	JICA帯広
		13:30～16:30				
8/14	火	9:30～12:00	視察	農業試験研究機関	(独法)農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター 芽室研究拠点	北海道農業研究センター
		14:00～15:30	視察	農業者との交流	帯広市	農家
8/15	水	9:30～12:00	講義／視察	広域的連携	財団法人十勝圏振興機構(事務局長) 中田 信次	食品加工技術研究センター
		13:30～16:00			財団法人十勝圏振興機構食品加工技術センター (センター長)永草 淳	
8/16	木	10:00～12:00		アクションプラン発表会リハーサル		JICA帯広
8/17	金	11:00～12:00		評価会	(独)国際協力機構 帯広国際センター	JICA帯広
		13:30～16:00		アクションプラン発表会	(社)北方圏センター	JICA帯広
		16:00～16:30		閉講式	(独)国際協力機構 帯広国際センター	JICA帯広
8/18	土			帰国日		

年度別受入実績表

1. 応募／選定（受入）人数

	16年度	17年度	18年度	19年度	累計
応募数	6名	18名	14名	13名	38名
受入数	5名	9名	8名	8名	22名

2. 研修員の出身国

○男性 ●女性

国名	16年度	17年度	18年度	19年度	累計
(アジア地域)					
タイ		○			1名
ベトナム		●			1名
ミャンマー		○			1名
インド		○		○	2名
パキスタン		○			1名
中国	○				1名
ネパール	○				1名
マレーシア			○		1名
モンゴル			○		1名
フィリピン			●		1名
ブータン				○	1名
(中近東地域)					
アフガニスタン		○			1名
エジプト		○		○	2名
イラン	○				1名
イエメン				○	1名
(中南米地域)					
パラグアイ		○			1名
コロンビア	○要請取り下げ				
メキシコ	○				1名
ブラジル				○	1名
(アフリカ地域)					
ケニア		○	○	○	3名
マダガスカル			●		1名
タンザニア			○		1名
トーゴ			○		1名
ザンビア			○	○	2名
(太平洋州)					
パプアニューギニア				○	1名
パラオ	○				1名
計	5カ国 5名	9カ国 9名	8カ国 8名	8カ国 8名	26カ国 30名